「大学間連携共同教育推進事業」中間評価結果

連携の種類	地域連携	整理番号	１１
取組名称	西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム		
連携校 ※下線は代表校	山口大学、香川大学、愛媛大学、佐賀大学、京都外国語大学、京都文教大学、広島経済大学、松山大学、九州国際大学、京都外国語短期大学、愛知みずほ大学、京都光華女子大学、熊本学園大学、愛知みずほ大学短期大学部、京都光華女子大学短期大学部		

（総括評価）

Ａ：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

［コメント］

本取組は、西日本の大学から世界に翔たき、「学び続けるリーダー」を輩出することを目指して、関西・中国・四国・九州の国立私立の 12 大学 3 短期大学が「異文化交流型リーダーシップ・ネットワーク」を形成し、全国展開に向けて西日本での連携と発展を図ることを目的としている。

教育改革については、本取組が、代表校と連携校で学生へのサポートに格差・誤差が生じることを避けるために教職員対象の研修を実施するなど、教職員の能力開発にも有効に機能している点が評価できる。また、広域の機関が協働してプログラムを実施し、客観的評価指標も試行を済ませて既に本格運用の段階に入っていることも優れている。

ステークホルダーとの協働・評価については、外部評価での指摘を踏まえて平成 26 年度中に対応予定としていた教材開発が順調に実施されている点は評価できる。

取組の実施体制・継続発展については、多様性を持った多くの参加大学が事業を推進していく上で、緩やかな連携を維持する工夫が図られており、今後の進展が期待される。